

TC 通信

№ 103 2022年1月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



『文豪中學生日記』

小手鞠い/著 あすなる書房 913/アス/21

物語は「そうだ、紀貫之さんのまねをしてみよう」という思いから始まる。何よりも文章を書くことが大好きな中学2年生の女の子、西城春希。元日に、自分で決めたいいくつかのルールに沿って、一年をとおして日記を手書きで書くことを決心するのだ。

家族のこと、学校でのこと、若者特有の心の動きや悩み、言葉が持つ力、そして伝えることの難しさなどが綴られた日記形式の小説である。

春希がサイトや雑誌社に投稿する、その時々的心情をつづった「詩」も素敵だし、春希のバイブルとして登場する『作家になりたい君たちへ——十代のための文章作法』は書籍化してほしいほどだ。迷える若者たちへの道しるべのようでもある。

是非、一読を！伝え方で表情が変わってしまう言葉の力について、気づくこともあるに違いない。

新しい年を迎えて、あなたも手書きで日記を書いてみては。



極め道

『気象キャラクター図鑑』

筆保 弘徳/監修 いたう みつる/イラスト 日本図書センター
45/キ/19 3階児童

最近、低気圧による体調不良などをよく耳にします。情報番組では気圧予報を放送しているところもありますよね。でも気圧って何だろうと思ったことはありませんか？そのほかにも「風はどうして吹くのか」「虹はどうやってできるのか」とか、気象にまつわる疑問って意外と多い！そこで今回は、気象を極める本を紹介します☆

前述した気圧、虹などをキャラクター化し、どんな気象なのか、なにをするのか教えてください。このキャラクターの姿が、何となくわかる～って感じで見ていて面白いです。またコラムも充実していて入門書にぴったりの本です。

テーマ 経済

ニュースなどでよく耳にする経済のこと、もっと知りたいと思ったことはありませんか？10代の皆さんが楽しく読めそうな経済本を紹介します。

『お金の話を13歳でもわかるように一流のプロに聞いたら 超カッキ的な経済本ができちゃいました』

佐々木かをり/編著 ダイヤモンド社 330/オ/13

本書は多方面で活躍している著者佐々木かをりさんの子どもたちが、各分野で仕事をしている一流の人達にインタビューしてまとめられた経済本である。

「お金ってなんですか？」にはじまり「電子マネーってなんですか？」の章まで著名な6人のプロに聞きまくる。どの章にも多くのイラスト、グラフなどが入っていて、易しいことばでわかりやすく丁寧に説明されている。最高の仕事をする人達は、どんな相手にも最高の準備をし対応する様子が伝わってくる。「社会や経済とは、単純にお金ではなく、真剣に誠実に働く人たち、一人ひとりの『心』から生まれている」ことに気づかされるのだ。

一流のプロからのメッセージは、あなたたちの大きな学びになるに違いない。



『ドラえもん社会ワールド 経済がよくわかる』

藤子・F・不二雄/まんが 藤子プロ/監修 日本公認会計士協会東京会/監修

小学館ドラえもんルーム/編小学館 33/ト/18 3階児童

ニュースや授業で出てくる「経済」。たった二文字の言葉なのになんだか難しいし、よくわからない…そう思う人少なくないはず。そんな時ドラえもんがいてくれたら、理解できるようになる道具を出してもらえたのかも…。

アニメや漫画みたいに何か道具を実際に出してもらおうのは難しいですが、本を読んで楽しく学んでみませんか？

GDP(国内総生産)などの難しい言葉や、「インフレ」「デフレ」になるとどのようなことが起きるのか、最近よく聞く仮想通貨やキャッシュレスなど、経済に関わることを全般を丁寧に教えてくれます。もちろんマンガも載っていますよ～☆



『ものがたりで学ぶ経済学入門』 根井 雅弘/著 中央経済社 331/モ/21

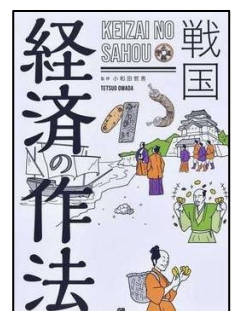
“経済学”と聞くと堅くて難しいイメージがありますよね。この本は、進路に迷っていた高校三年生の経太君が、ひょんなことから経済学者、杉本先生の中学生の息子の家庭教師をするようになり、杉本先生との対話から経済学の世界に魅了されていくというストーリーで書かれています。

「中学や高校の教科書に書いてあることの良い部分を生かし、足りない部分を補うような入門書は書けないか」と探っていたという著者が書き上げた本書は、中高生の学習に役立つだけでなく、経済を本格的に学びたい大学生への橋渡しにもなっている内容です。フィクションを取り入れたちょっと異色な経済入門書、一度あなたも経済学の扉を開けてみませんか？



『戦国経済の作法』 小和田 哲男/監修 G. B. 332.1/セ/20 4階一般

経済の勉強が大好きな方、ちょっと苦手…な方もいると思いますので、少し遡った時代の経済を見てみましょう。そう、戦国時代の経済事情です。皆さんは学校で戦国時代の歴史を学んでいると思いますが、授業で気になったことはありませんか？この時代の経済(戦の費用、領地の経営など)がどの様に回っていたのかを。この本では平民経済・領国経営・経済戦争・貿易と流通の作法という名の章に分かれ、戦国時代の様々な物価の値段やまさかの城見学の観光業(?)など盛りだくさんの内容となっています。皆さんご存知の楽市楽座の衝撃的(?)なお話も掲載。そんな戦国時代の経済事情を楽しく学んでみませんか？



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)



『君の顔では泣けない』

君嶋 彼方/著 KADOKAWA F/キミ/21 4階一般

プールと一緒に落ちたことがきっかけで、高校生の男女が入れ替わる物語です。それだけだと『君の名は。』なんかを思い浮かべられる方が多いと思いますが、この物語の面白いところはそのことを受け入れて、それぞれの家族とどう向き合うのか？に焦点が絞られているところだと思います。

自分の人生ではあるけれど、家族にとっての自分の存在意義は何なのか？主人公2人の選択が皆さんにはどう映るのでしょうか。

ジェンダー論だけでは突き破れない何か？を作者は問うているように感じます。小説野性時代新人賞受賞作、ぜひ読んでみてください！

図書館員 K の本棚

みなさんは学校の“古文”の授業は好きですか？「よくわからないから好きじゃない」という人も多いかもしれませんね。そこで今回は、“私が学生の時にこんな本に出会ったり、きっと古文のことがよくわかったのに！！”という本ばかりを集めてみました。

古文の単語をキャラクター化してわかりやすく解説した本や、古文の基礎知識を映画のシーンと一緒に楽しく身につけられる本、また古典の中から心に響く言葉の数々をぬき取り生き方の参考にもなるのでは…と思われる本などをご紹介します。みなさんのお役に立つとよいなと願いを込めて♡

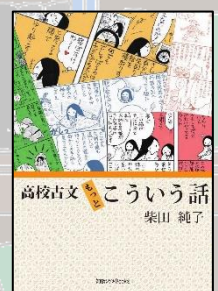
『古文単語キャラ図鑑』

岡本 梨奈/著
新星出版社
814.6/コ/18



『高校古文 もったこういう話』

柴田 純子/著
ケイエスティープロダクション
910.2/コ/17



『「君の名は。」で 古文・和歌の読み方が面白いほどわかる本』

渡部 泰明/監修
KADOKAWA
810/キ/17



『いにしえの言葉に学ぶ きみを変える古典の名言 随筆 枕草子・徒然草ほか』

福井 蓮/文 ふすい/絵
汐文社
91/チヨ/21-1



大人の お 押しコレ



お ぼん
大人の推し本
コレクション



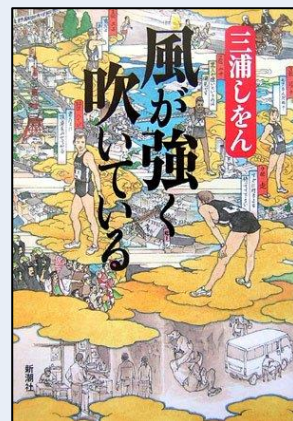
『風が強く吹いている』

三浦 しをん/著 新潮社

F/ミウ/06 4階一般

東京箱根間往復大学駅伝競走、通称「箱根駅伝」は1月2日、3日の2日間にわたり開催され、1日目は東京の大手町からスタートし、箱根の芦ノ湖を目指す。2日目はその逆をたどり大手町のゴールを目指す。コースは10区間に分け、各大学のエースが走る花の2区や箱根の山を激走して駆け上がる5区など、10人の走者が、駅伝に懸ける思いを込めたタスキをつないでいく。

新春の晴れ晴れとして冷たい空気の中を駆けていく、そんな臨場感が味わえる作品です。



名作 たからばこ



『名著のツボ』

石井 千湖/著 文藝春秋 019.9/メ/21 4階一般



今回紹介するこの本は、誰もがタイトルだけは知っているような古典的名著100を、その分野に詳しい博識の方たちに読みどころを教えていただくという内容になっています。本ごとに「ツボ」が掲載されていますので、名著が簡潔にとてもわかりやすく紹介されています。その分野に詳しい博識の方たちの解説ですが、もちろん捉え方は人それぞれ。ですが、今まで読んだことがある本でもまた違った読み方があるという発見があるかもしれません。読んだことがない本についても、どんな本なのかを知るきっかけになるのではないのでしょうか。様々な名作が世にはありますが、ありすぎてどこから手をつけていいかわからないあなたにこの本をおすすめします。

ティーンズコーナーで待ってます！

ティーンズコーナーは、中高生（ティーンズ）世代向けに、さまざまなジャンルの本を集めたコーナーです。図書館3階の北側自動ドアから入り、まっすぐ進んだ先の左側の本棚にあります。看板が目印！

悩み解決のヒントになる本、知識を深める本、趣味を広げる本など、児童書よりもステップアップした内容のものや、10代の皆さんにおすすめの読み物を用意しています。

「〇〇について調べたい！」
「△△の本はどこ？」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。